

タイルの注入はお任せ下さい！
(株)ベルアート特許特販事業部

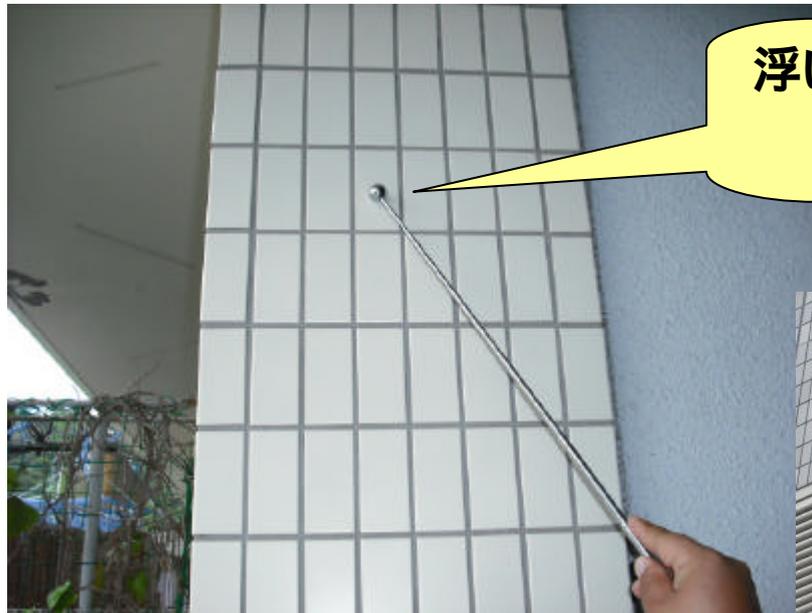
タイル注入実用新案取得工法
メジピタガイド(特許庁登録許可番号3112409)

+

低振動、低騒音型スーパードリル工法

タイル改修工事時の騒音、振動、等の解消及び
確実、正確なる注入を可能にした画期的な技術です

『タイル貼り』の建物の改修方法について。



浮いている箇所は、パコパコ
という音がします。

打診棒を使用し、音の違いにより
浮き部分を調べます。



割れているタイルは当然、撤去、貼り替えをします。



国交省通達でもタイルの10年ごとの打診検査が義務付けられました。
タイルの剥落事故は人災です。

タイルが浮いている場合はエポキシ樹脂を注入します。

通常、モルタル浮きの注入の場合は6mmの穴をあけ、4mmのSUSネジ切りピンを、挿入しますが、タイルの5mmの目地には、4mmの穴をあけ、3mmのピンを挿入します。

問題点

1. 穿孔時の騒音、振動



2. 目地の中心への確実な穿孔 (せんこう)が困難な為、周囲のタイルの破損が生じる

3. 注入後の拭き取り不良があった場合には、当初はわかりませんが、半年～一年くらいで、エポキシ樹脂の黄変が発生します。

タイル目地への注入は、穿孔が難しいだけではありません。

- 注入したエポキシ樹脂がガンを抜いた時に、どうしても垂れてタイルを汚します。
- すぐさま、エポキシシンナー等にて拭き取るのですが、拭き取り不良があった場合には、当初はわかりませんが、半年～一年くらいで、エポキシ樹脂の黄変が発生します。
- これは、段差が生じることもないので、検査時には判りません。
- 時間経過にて初めて判明するのが問題です。

時間経過にて約1年後には黄変する場合があります。



タイル浮き部分

あとから黄変してきます

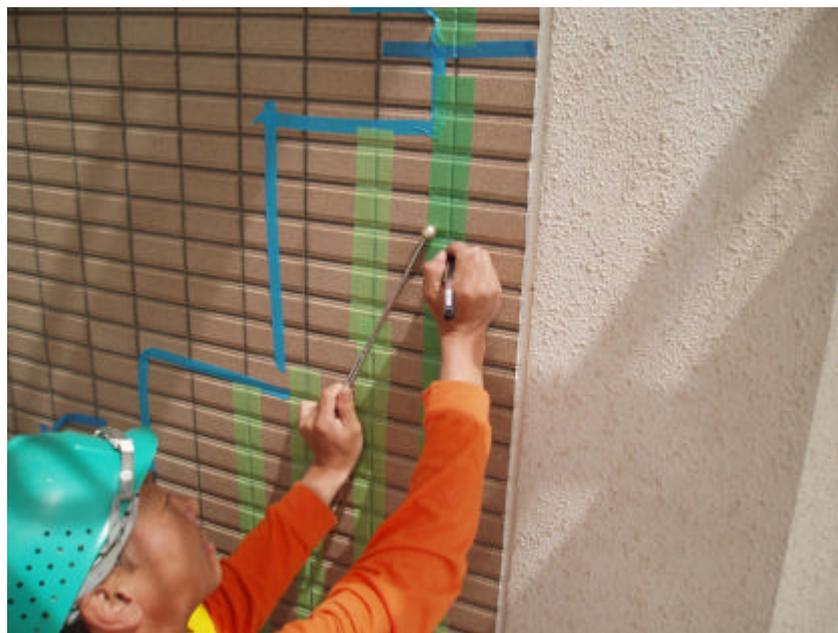
Bell Art

これらの問題を、解決します！！

- タイル目地専用の **特許注入メジピタガイド**を使用します！ **当社の実用新案取得製品**です！
- 断面が凸型で、0.1mmの精度で製作可能です。
- 形は 亶型、T型、X型があります。



使用方法



青いテープ、又はチョーク等で浮き部分をマーキングした後、注入予定部分に緑色のテープを目地底まできっちりと縦に貼ります。



特許製品『特許注入メジピタガイド』を使用しています。

『特許メジピタガイド』を使用し、4mmのキリを用い、穿孔します。刃先を『特許メジピタガイド』に挿入後にドリルのスイッチを入れ、刃先を回転させます。(回転させた状態で挿入しない事。)タイルとモルタルの二重浮きについても、試し穿孔にて調査します。

使用方法



エポキシ樹脂を注入します。先にテープ養生していますので、垂れても大丈夫です。



注入完了後、3mmのステンレスねじ切りピンを挿入した後、ウエス等にて、穴をふさぎ、24時間後の樹脂硬化まで振動を与えない様にします。

超低騒音、超低振動型スーパードリル

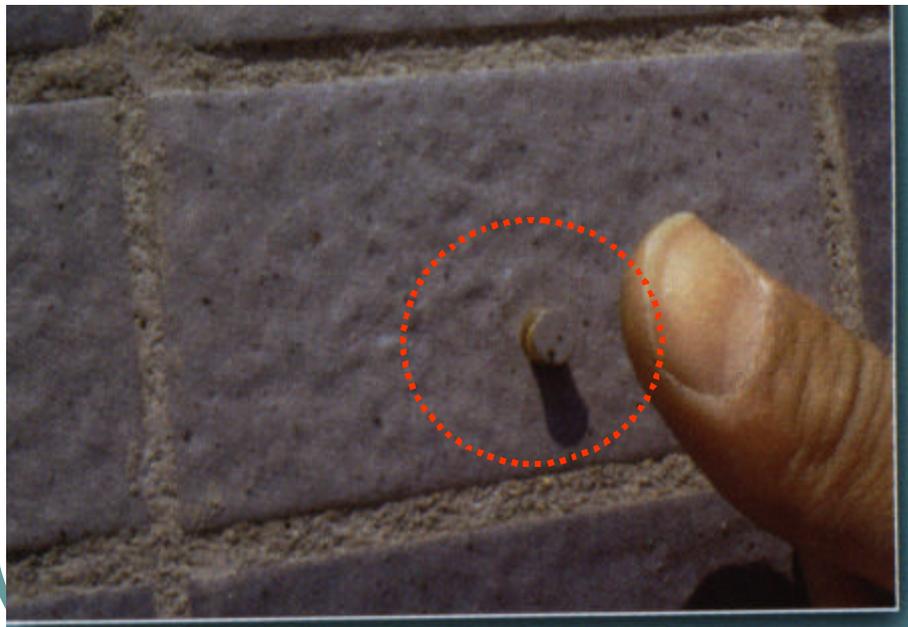
- 深目地タイプのタイルの場合はタイルに直接 穿孔します。
- 下図の様な黄色いボンベから冷却剤を噴出し、ドリル先端を冷やし、**超低音、超低振動**にて穿孔します。



この中にカセット型の冷却剤が入っています。

直接タイルに穿孔も可能です。

- タイルに直接穿孔する場合は、エポキシ樹脂注入後、ステンレスネジ切りピンを挿入し、タイルに合わせたキャップをします。深目地タイプのタイルにも使用可能です。



どんなタイルでもおまかせ下さい！

- 超低騒音、超低振動、周囲のタイルの破損ナシ、将来的にも黄変ナシ！

- 特許 メジピタガイド
+ スーパードリル

株式会社ベルアートだけの技術です！



是非一度実際に見て下さい！

もう 改修時の騒音に悩まされる事はありません！

コンクリート板にタイルを貼った見本板がありますので、一度実際にご覧になって下さい！

低騒音、低振動も、目地の交点に正確に穿孔出来るのも御納得して頂けると思います！

宜しくお願いします！

